

2024年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
数学	数学B	2	2年次	齊藤洋平、竹内 巧、照井広志			
選択するときの条件	数学Iを履修。2年次での選択科目となります。						
使用教科書	数研出版 「高等学校 数学B」	使用副教材	数研出版「4プロセス 数学B 完成ノート」 数研出版「チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C」				
科目の目標			道徳教育のねらい				
<p>「数列」、「統計的な推測」について理解させ基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。基本2クラス2展開の習熟度編成の授業により、きめ細かな指導を行う。日常の課題、単元テスト等の取り組みを徹底し、基礎基本の定着を図ると共に、応用問題に取り組む姿勢を養う。</p>			<p>数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度や、工夫して生活や学習をしようとする態度を育てることで、また、生徒が事象を数理的に考察し、道筋を立てて考え、表現をする能力を高めることで、道徳的判断力を養う。</p>				
学習活動内容		育てたい6つの力(資質・能力)					
		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働 力	計画 実行力
1	数学B第1章数列（等差数列と等比数列）	○		◎		○	
2	数学B第1章数列（いろいろな数列）		○	◎	○		
3	数学B第1章数列（漸化式と数学的帰納法）			○	◎		
4	数学B第2章統計的な推測（確率分布）		◎	○			
5	数学B第2章統計的な推測（統計的な推測）			◎		○	
6	数学B＋ベクトルの基礎演習	○			○	○	◎
7	数学B＋ベクトルの基礎演習	○		○		○	◎
8	課題学習					◎	
9	課題提出	◎			○	○	
10	考查		○	○			◎
評価の観点	知識・技能	思考 判断 表現		主体的に学ぶ態度			
	数学的活動を通して、各単元において、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して、各単元における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。		数学的活動を通して、各単元における考え方に興味をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。			
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。						
	A: 目標に対する到達度が70%～100%		B: 目標に対する到達度が45%～69%		C: 目標に対する到達度が0%～44%		
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組	定期考查	単元テスト		
	知識・技能	○	○	◎	◎		
思考・判断・表現	○	○	◎	◎			
主体的に学ぶ態度	○	◎	○	○			

数学B 授業計画

授 業 計 画				実施状況		
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施	実施反省	
前 期	4 5 6 7	第1章 数列 単元テスト	簡単な数列とその和及び漸化式について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 統計的な推測の概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 4プロセス(完成ノート)やその他教材を活用して、数学Bの内容を総復習する。	第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	前期	
	8	課題確認テスト				
	9	前期期末考査				
	後 期	10 11 12				第2章 統計的な推測 単元テスト
		1				課題確認テスト
2		数学B総復習 後期期末考査				
3						
				後 期		